

令和元年度大田区障がい者実態調査の結果及び次期おおた障がい施策推進プランの策定スケジュールについて

1 調査の目的

令和3年度から令和5年度を計画期間とする、「おおた障がい施策推進プラン（大田区障害者計画、第6期大田区障害福祉計画、第2期大田区障害児福祉計画、大田区発達障がい児・者支援計画）」を策定するに当たっての基礎資料とするため、障がい者の生活状況、障害福祉サービス等の利用状況を把握するとともに、障害福祉サービス事業者の現状や今後の事業展開等を把握することを目的として実施した。

2 実施期間 令和元年11月28日から令和元年12月19日まで

3 実施方法 郵送配布

回答は、郵送及び電子申請サービスで回収

4 調査対象及び回収数等

調査の種類	発送数 (A)	有効回収数 (B)	回収率 ($B \div A \times 100$)
① 18歳以上調査	4,500	1,878	41.7%
② 18歳未満調査	1,500	541	36.1%
③ 障害福祉サービス事業者調査	200	106	53.0%
合計	6,200	2,525	40.7%

5 調査の概要

18歳以上調査及び18歳未満調査においては、障がい種別に対象者を抽出し、日頃の生活状況や障害福祉サービスの利用状況・意向等を集計した。

事業者調査においては、障害者支援施設や相談支援事業者等のサービス提供状況等を集計した（以下、調査結果一部抜粋）。

(1) 「一人で暮らす場合や、施設や病院から出るときに不安に思う（思った）こと」についての問いに対しては、「困った時の相談場所」という回答が、18歳以上調査では21.9%、18歳未満調査では32.5%という割合で、どちらの調査でも最も多い回答であった。

(2) 「どのようなことを地域の人にしてほしいと思うか」という問いに対

としては、「困っている場面を見かけたら、一声かけて手伝いをする」という回答が、18歳以上調査では40.0%、18歳未満調査では44.2%という割合で、どちらの調査でも最も多い回答であった。

6 計画策定スケジュール（予定）

スケジュール	内 容
6月～	障がい者施策推進会議（5回予定）
7～8月頃	国の基本指針案の提示
12月頃	計画素案について区民説明、パブリックコメントの実施
2月頃	第1回定例会にパブリックコメント実施結果等の報告
3月末	計画決定